

## 中野区の年少人口等の動向について

2016 年 10 月 26 日に公表された、2015 年実施の国勢調査等の結果を踏まえ、中野区の年少人口等の動向について以下の通り報告する。

### 1 総人口の推移

区の総人口については、2015 年国勢調査の結果によると、328,215 人となり、前回調査時点（2010 年国勢調査）の 314,750 人に比べ、13,465 人増（4.28%増）と、増加傾向にある。《別紙「図 1-1」参照》

うち年少人口については、26,532 人となっており、前回調査時点の 23,645 人に比べ、2,887 人増（12.2%増）と増加に転じている。《別紙「図 1-2」参照》

また、2010 年国勢調査の結果に基づき、区が実施した人口推計との比較では、年少人口は、実績値が推計値を 4,418 人上回り、この間、区が取り組んできた子ども・子育て支援施策の一定の成果が反映されたものと推測される。《別紙「図 1-3」参照》

### 2 出生数・合計特殊出生率の推移

出生数については、2011 年から増加傾向が続き、2016 年現在では 2,764 人となり、2010 年時点（2,310 人）と比較して、454 人増となっている。《別紙「図 2-1」参照》また、区の合計特殊出生率も同様に、2011 年から増加傾向が続き、2015 年現在では 1.03 となり、2010 年時点の 0.89 と比較すると、0.14 増となっている。《別紙「図 2-2」参照》

区の出生数・合計特殊出生率は増加傾向にあるが、特別区全体の合計特殊出生率 1.22 と比較すると依然として低い水準であり、さらなる施策の推進が必要である。

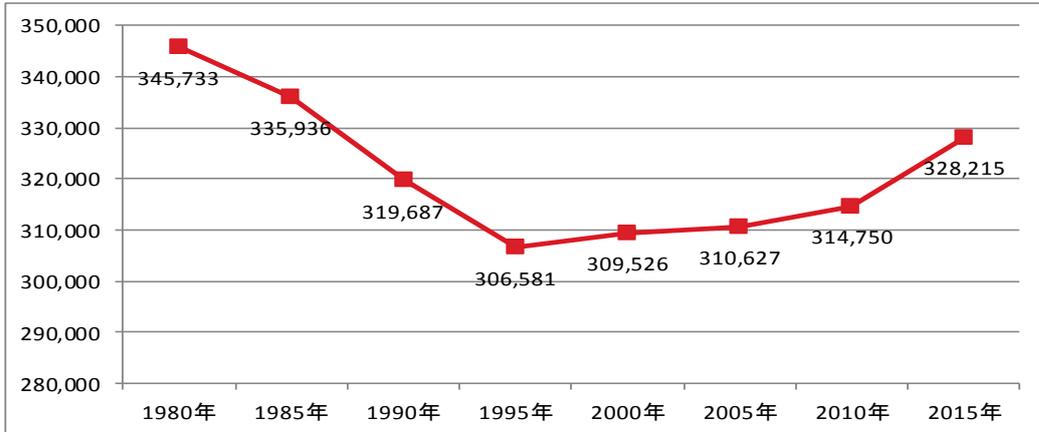
### 3 子どもの定着率の推移

区の転出入の動向をみると、年少人口においては、0～4 歳の年齢区分について転出超過となっている。《別紙「図 3-1」参照》また、3 歳時点における定着率（当該年の 3 歳人口／3 年前の 0 歳人口）については、0.8 台を推移していたが、2015 年以降は、0.9 台となっている。《別紙「図 3-2」、「図 3-3」参照》

年少人口における定着率は、過去と比較して上昇傾向にあるが、特別区全体と比較すると依然として低い水準であり、さらなる施策の推進が必要である。

《図1-1》総人口の推移（中野区）

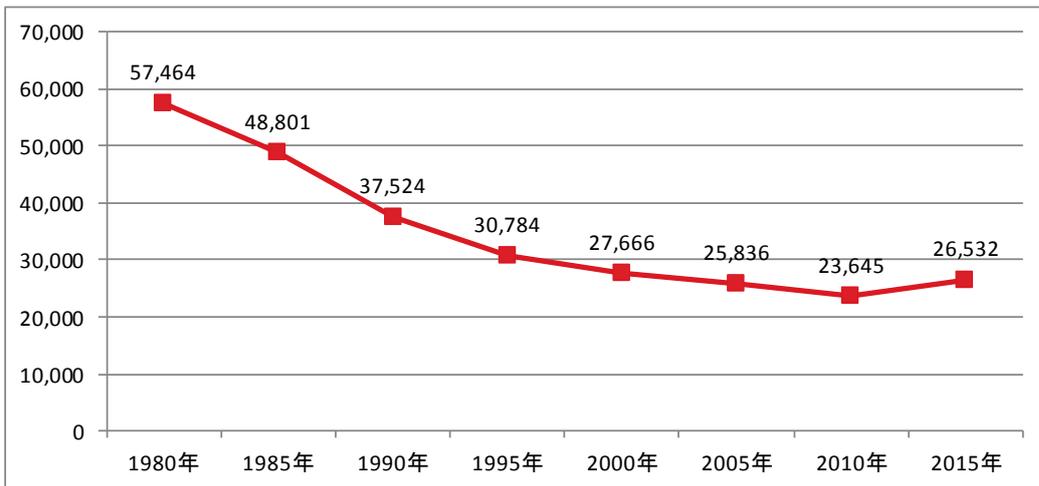
(人)



国勢調査結果より作成

《図1-2》年少人口の推移（中野区）

(人)



国勢調査結果より作成（年齢不詳人口は按分）

《図1-3》実績値と推計値の比較（中野区）

(人)

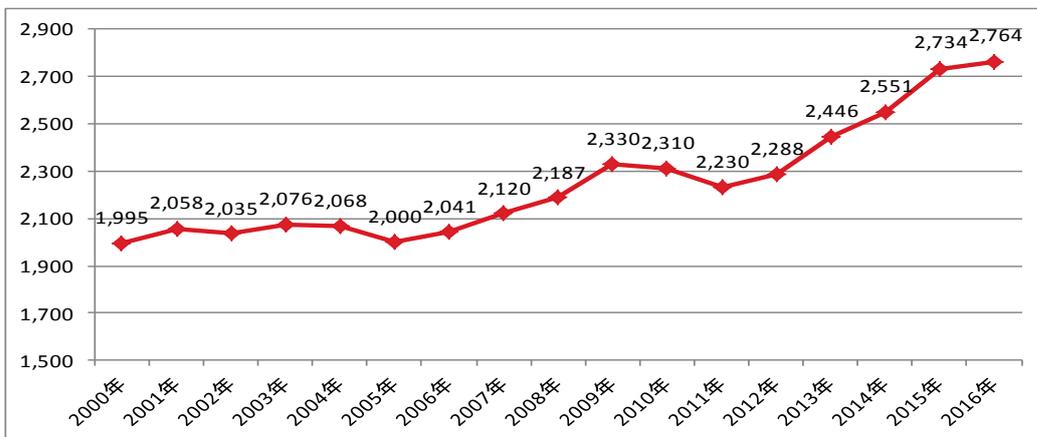
	実績値 (2015年国勢調査)	推計値 (2010年国勢調査)	実績値－推計値
年少人口（0-14歳）	26,532	22,114	4,418
生産年齢人口（15-64歳）	232,013	217,053	14,960
老年人口（65歳以上）	69,670	71,169	-1,499
総計	328,215	310,336	17,879

※推計値については、2010年国勢調査に基づく人口推計（コーホート・シェア延長法）

実績値は国勢調査結果より作成（年齢不詳人口は按分）

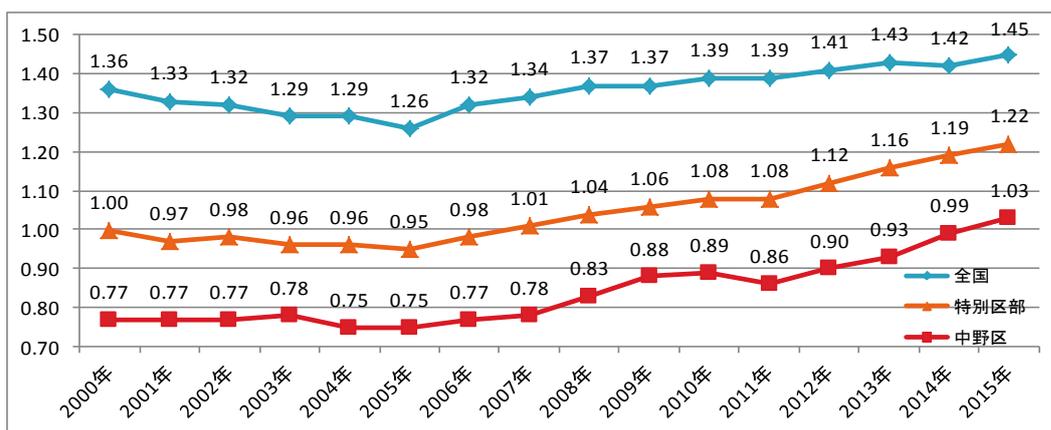
《図 2-1》出生数の推移（中野区）

(人)



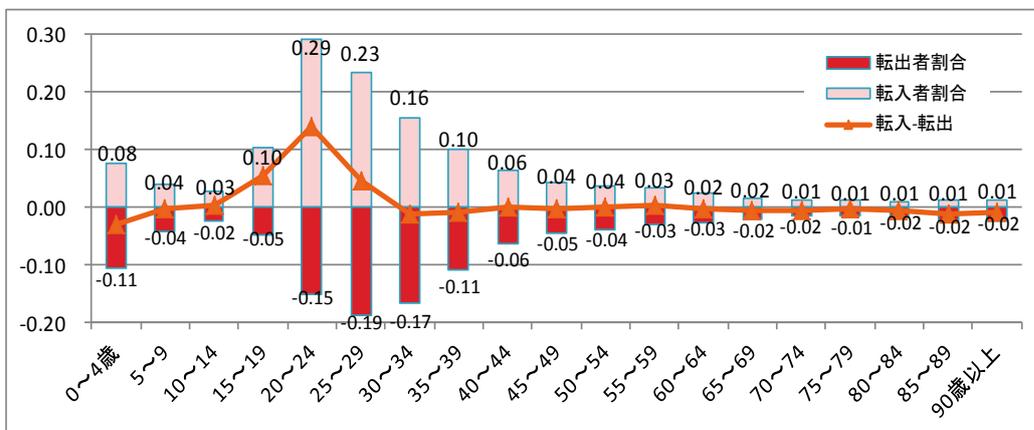
住民基本台帳データより作成

《図 2-2》合計特殊出生率の推移



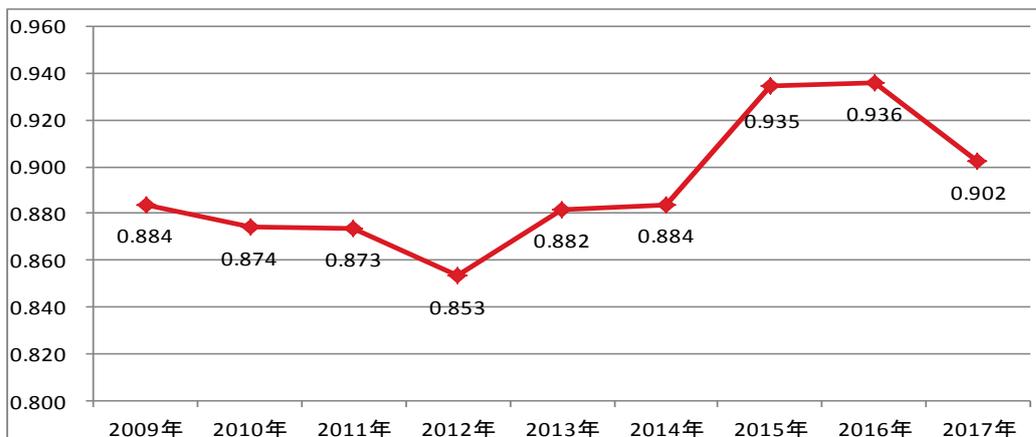
人口動態統計より作成

《図 3-1》転入者・転出者の状況（中野区）



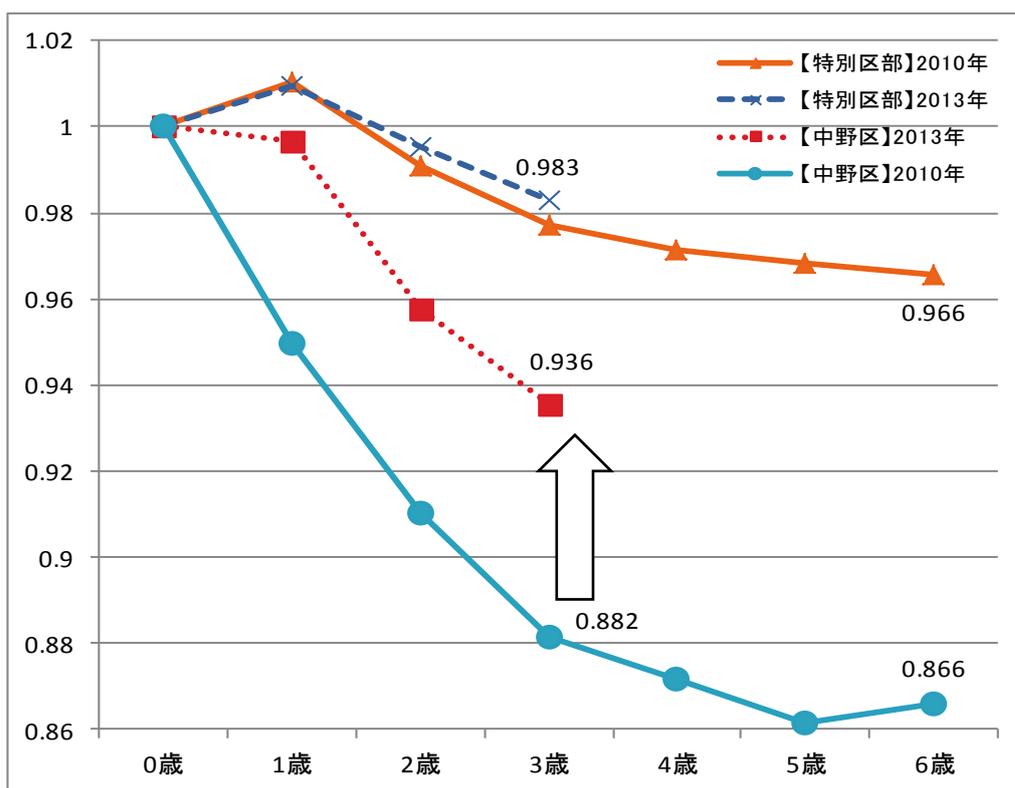
2015年住民基本台帳移動報告、住民基本台帳による東京都の世帯と人口（2016年1月1日）より作成  
（年齢区分別の転入者数、転出者数と年齢区分別人口の割合）

《図3-2》3歳時点における定着率（中野区）



住民基本台帳データより作成（当該年の3歳人口／当該年の3年前の0歳人口、各年1月1日）

《図3-3》出生年別定着率の推移



住民基本台帳による東京都の世帯と人口より作成

（当該年齢の人口／基準年の0歳人口、各年1月1日）